

令和2年度指定管理者評価調書

施設所管課	商工観光部商業観光課	評価者職氏名	課長 佐々木 紳了	評価日	令和3年6月30日
-------	------------	--------	-----------	-----	-----------

施設名称	奥州市まちなか交流館	施設所在地	水沢 地域
指定管理者名	株式会社まちづくり奥州	公募・非公募の別	公募
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	中心市街地の活性化及び市民の交流を図る	指定管理料の有無	有
施設概要	フロア面積630.76㎡（190.80坪）、イベントスペース、会議室、図書コーナー、飲食スペース、事務室	指定管理料の区分	指定管理料＋利用料金

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	R2利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	施設使用者数		86,245	83,849	83,217	63,669	
(計)		86,245	83,849	83,217	63,669	76.5	
〔利用者の増減理由〕							3
新型コロナウイルス感染症の影響によるもの。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	R2年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R2年度決算額		市直営決算(H23年度)			
収入	指定管理料	12,950,000		12,950,000	歳入	使用料	0	使用料	112,000	
	利用料金	568,000		568,000		賃貸料	0	賃貸料	0	
	自主事業	102,000		102,000		その他	0	その他	0	
	雑収入	1,173,249		1,173,249		計(A)	0	計(A)	112,000	
	計	14,793,249	0	14,793,249						
	支出	人件費	7,926,664		7,926,664	※経常的 歳出	指定管理料	12,950,000	人件費	9,012,556
		需用費	2,017,702		2,017,702		委託料		委託料	2,192,400
		役務費	153,784		153,784		需用費		需用費	492,134
		委託料	735,548	0	735,548		その他(賃貸料)	9,158,400	その他	12,305,464
		使用料・賃借料	281,068	0	281,068		計(B)	22,108,400	計(B)	24,002,554
租税公課		384,600	0	384,600	支出(B-A)	22,108,400	支出(B-A)	23,890,554		
事業費		1,369,989	0	1,369,989	※臨時的 歳出	維持修繕費		維持修繕費		
雑費		28,150		28,150		備品購入費		備品購入費		
計		12,897,505	0	12,897,505		計(C)	0	計(C)	0	
損益		1,895,744	0	1,895,744	支出(B+C-A)	22,108,400	支出(B+C-A)	23,890,554		
職員配置	常勤職員		3人	市の正職員		人				
	非常勤職員		2人	市の臨時・非常勤職員		4人				
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額							
	969,500	401,500	568,000							
指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出		61.5%	R2年度指定管理者損益	1,895,744円		評価			
利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数		203.4円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし					
行革効果	〔指定管理による行革効果〕			〔行革効果額〕			3			
				1,782,154円						
	直接的な効果額も前年度より上がっており、また、工夫を凝らした事業を実施することによって、市民の憩いの場として定着してきていることから、中心市街地の活性化に寄与している。			〔行革効果額の積算根拠〕						
		R2	R1	比較						
直営支出額	23,890,554	23,890,554	0							
市支出額	22,108,400	22,158,400	△50,000							
効果額	1,782,154	1,732,154	50,000							

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	1 使用許可に関する業務 2 使用料金の徴収に関する業務 3 維持管理に関する業務 4 中心市街地の活性化及び市民の交流を図るための事業の企画・実施	○		3
自主事業	・サマーパーティ(ビアガーデン)等	○		

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	日常的に点検を行うなど、適切に管理した。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	日常的に点検を行った。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	清掃委託業務により実施した。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	光熱水費等のエネルギーの削減については、抑制に努めた。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入			
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	清掃委託業務により実施した。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適切に対応した。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	快適な利用環境の整備に努めた。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	適切に対応した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	積極的に自主事業を実施した。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	コロナ禍におけるイベントの対応方針に則り、適切に対応した。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	毎月、定期的に報告した。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	適切に管理した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	建物管理者の合同で点検した。	○	
	警備業務の実施(機械警備含む)	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	機械警備を実施した。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	適切に対応した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	建物管理者において策定した。	○	
	避難(救助)訓練の実施	避難訓練の実施	建物管理者と合同で実施した。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	評価 3
		調査内容	施設内にアンケートボックスを常設して利用者から施設への要望等をアンケート調査している。	
	調査結果	アンケートの投書が確認され、業務への参考とした。		
	要望・苦情等	良好とする評価 職員対応は良好であった。 イベント等の内容も市民から評価を頂いた。		
	苦情・改善要望等	特になし		

6 総合評価

評価区分	評価	総合評価
1 施設の利用状況	3	<h1>3</h1>
2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
2 経費等の状況 (行革効果)	3	
3 事業の実施状況	3	
4 業務の実施状況	3	
①施設の維持管理	3	
②サービスの向上	3	
③危機管理対策	3	
5 利用者評価	3	
評価理由	状況にあわせた事業の企画、実施により常に一定数の利用者があり、また、施設の適切な管理・運営により、市民の憩いの場として立ち寄り易い環境が確保されていることから、市民から一定の評価を得ていると思われる。	

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	情勢に合わせたイベントの開催。 地元商店街連携した事業の充実。	コロナ禍のイベント対応方針に 則ったイベントを開催した。	情勢に合わせたイベントの開催。 地元商店街連携した事業の 充実。

令和2年度指定管理者評価調書

施設所管課	商工観光部商業観光課	評価者職氏名	課長 佐々木 紳了	評価日	令和3年6月30日
-------	------------	--------	-----------	-----	-----------

施設名称	奥州市道の駅交流館	施設所在地	水沢 地域
指定管理者名	株式会社サンアメニティ	公募・非公募の別	公募
指定期間	平成31年4月1日～令和4年3月31日まで(3年間)	新規・継続の別	継続
施設設置目的	地域住民等との交流、地域地場産品等の展示又は開発及び旅行者に対する観光情報等の提供の場とするため。	指定管理料の有無	有
施設概要	道の駅交流館:特産品展示販売、観光インフォメーションコーナー等 道の駅みずさわ:駐車場、公衆便所、多目的広場等	指定管理料の区分	指定管理料+利用料金

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	R2利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	奥州市道の駅交流館	61,545	66,949	46,764	32,964	70.5	
(計)	61,545	66,949	46,764	32,964	70.5		
[利用者の増減理由] コロナウィルスの感染拡大により、一時的に施設が休業する等の影響を受けたため、利用客が激減し、前年対比で7割程度となった。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位:円)	R2年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R2年度決算額		市直営決算(H17年度)			
収入	指定管理料	6,664,000		6,664,000	歳入	使用料		使用料		
	利用料金			0		賃貸料		賃貸料		
	自主事業		21,403,860	21,403,860		その他		その他		
	雑収入	2,000,000	52,837	2,052,837						
	計	8,664,000	21,456,697	30,120,697		計(A)	0	計(A)	0	
支出	人件費	365,330	11,192,248	11,557,578	※経常的 歳出	指定管理料	6,664,000	人件費	1,737,920	
	需用費	4,491,416		4,491,416		委託料		委託料	4,817,000	
	役務費	206,070		206,070		需用費	5,922	需用費	166,000	
	委託料	1,463,711		1,463,711		その他	135,000	その他		
	使用料・賃借料	686,004		686,004		計(B)	6,804,922	計(B)	6,720,920	
	租税公課	400		400		支出(B-A)	6,804,922	支出(B-A)	6,720,920	
	その他諸費		11,810,560	11,810,560		※臨時的 歳出	維持修繕費		維持修繕費	
							備品購入費		備品購入費	
	計	7,212,931	23,002,808	30,215,739			計(C)	0	計(C)	0
	損益	1,451,069	△ 1,546,111	△ 95,042		支出(B+C-A)	6,804,922	支出(B+C-A)	6,720,920	
職員配置	常勤職員	人		市の正職員		人				
	非常勤職員	11 人		市の臨時・非常勤職員		人				
利用料金実績 (単位:円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額		0					
指定管理者 人件費率	人件費(賃金等) /指定管理者事業支出		5.1 %		R2年度 指定管理者損益	△ 95,042 円		評価 3		
利用者一人 当たりの 指定管理料	指定管理料 /利用者数		202.2 円		事業目的に適合しない支出等の有無		なし			
行革効果	[指定管理による行革効果]			[行革効果額]			△ 84,002 円		評価 3	
	行革効果額はマイナスではあるが、減少額は84,002円と抑えられている。また、17年度の直営当時は、専任の正職員1名を配置していたが、指定管理制度の導入により職員が減となり、人件費が削減されている。			[行革効果額の積算根拠]						
					R2	R1	比較			
				直営支出額	6,720,920	6,720,920	0			
市支出額				6,804,922	6,771,434	33,488				
効果額	△ 84,002	△ 50,514	△ 33,488							

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> ・来館者への対応 ・施設の利用受付及び許可業務 ・利用料金の徴収に関する業務 ・施設の利用に関するサポート業務 ・利用者への道路及び観光情報提供業務 ・施設の維持管理業務 	○		3
自主事業	<ul style="list-style-type: none"> ・食堂事業及び野菜や特売品の販売 ・各種イベント開催 	○		

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	日常的に点検を行い、適切に管理している。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	日常的に点検を行い、適切に管理している。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	適切に実施している。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	光熱費の節減に努めている。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	加入している。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	適切に実施している。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適切に実施している。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	適切に実施している。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	適切に実施している。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	適切に実施している。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	コロナ禍により自主事業のイベント企画を自粛した。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	毎月の業務報告書で報告を行っている。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	適切に管理している。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	年間計画により適切に実施している。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	適切に実施している。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	緊急時の連絡網を整備している。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	災害時におけるマニュアルを整備している。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	適切に実施している。	○	

5 利用者評価

利用者評価	実施の有無	有		評価
	利用者アンケート	調査内容	・道の駅への意見、要望等	
		調査結果	・施設管理が改善されたことへの評価が多い	
	要望・苦情等	良好とする評価	・トイレがいつも清潔で安心 ・ソフトクリームがおいしい	
		苦情・改善要望等	・道の駅の立地がわかりづらく通りすぎてしまう ・食堂のメニューの写真を増やして欲しい	3

6 総合評価

評価区分	評価	総合評価
1 施設の利用状況	3	<h1>3</h1>
2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
2 経費等の状況 (行革効果)	3	
3 事業の実施状況	3	
4 業務の実施状況	3	
①施設の維持管理	3	
②サービスの向上	3	
③危機管理対策	3	
5 利用者評価	3	
評価理由	<p>国道343号線の利用者に対し、休憩、食事及び交通・観光情報などを提供し、情報発信施設としての役割を果たしている。平成28年度から指定管理者が榊サンアメニティに変わり、よりよい施設運営を目指して努力している。懸案であった下請け業者は平成30年度末で撤退し、指定管理者が直接運営することになり、市や地元振興会と常に連携し、情報共有しているため、良好な施設運営が図られており、利用者からも好評を得ている。また、従業員も地元から雇用しているほか、地元の野菜販売など常に地元根差した運営を行っている。</p>	

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	利用者を増加させるための自主事業の企画、商品等を充実させる。	コロナウイルス感染拡大防止のため自主事業の企画を自粛したが、一方で地元食品製造事業者からの商品を仕入れ商品の拡充に努めた。	自主事業のイベント等を企画し、利用者の増加を図る。

令和2年度指定管理者評価調書

施設所管課	商工観光部商業観光課	評価者職氏名	課長 佐々木 紳了	評価日	令和3年6月30日
-------	------------	--------	-----------	-----	-----------

施設名称	奥州市種山高原交流施設	施設所在地	江刺地域
指定管理者名	江刺開発振興株式会社	公募・非公募の別	公募
指定期間	平成31年4月1日～令和4年3月31日（3年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	地場農畜産物及び種山高原の自然環境を活用し、市民及び都市住民等へ野外交流活動の場及び心身リフレッシュの場を提供することにより、農畜産業、観光及び物産の振興を図る。	指定管理料の有無	有
施設概要	種山高原交流施設（奥州市種山高原野外交流施設、奥州市江刺農林漁行体験学習施設及び奥州市種山高原キャンプ場）	指定管理料の区分	指定管理料＋利用料金

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	R2利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	奥州市種山高原交流施設等及びキャンプ場利用者数	11,686	13,192	15,100	13,491	89.3	
(計)	11,686	13,192	15,100	13,491	89.3		
[利用者の増減理由] 新型コロナウイルス感染拡大防止のための休業により、年度実績としては昨年度と比較して利用者が減少したものの、6月から11月までの営業期間で昨年度と比較すると利用者は増加している。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、アウトドア人気により一層が高まり、利用者増に繋がったと考えられる。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	R2年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R2年度決算額		市直営決算(H17年度)			
収入	指定管理料	13,510,000		13,510,000	歳入	使用料		使用料	8,788,700	
	利用料金	10,966,650		10,966,650		賃貸料		賃貸料		
	自主事業		1,229,636	1,229,636		その他		その他	451,328	
	雑収入			0						
	計	24,476,650	1,229,636	25,706,286	計(A)	0	計(A)	9,240,028		
	支出	人件費	10,648,979		10,648,979	歳出 ※経常的	指定管理料	13,510,000	人件費	
		需用費	4,623,725		4,623,725		委託料		委託料	21,783,000
		役務費	352,909		352,909		需用費		需用費	
		委託料	5,794,581		5,794,581		その他		その他	
		使用料・賃借料	312,169		312,169		計(B)	13,510,000	計(B)	21,783,000
		租税公課	1,279,183		1,279,183		支出(B-A)	13,510,000	支出(B-A)	12,542,972
		その他諸費	131,300	732,762	864,062		歳出 ※臨時的	維持修繕費	1,202,300	維持修繕費
					備品購入費			備品購入費		
計	23,142,846	732,762	23,875,608	計(C)	1,202,300	計(C)		0		
損益	1,333,804	496,874	1,830,678	支出(B+C-A)	14,712,300	支出(B+C-A)	12,542,972			
職員配置	常勤職員	3人			市の正職員		人			
	非常勤職員	5人			市の臨時・非常勤職員		人			
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額							
	11,047,150	80,500	10,966,650							

指定管理者人件費率	人件費(賃金等) / 指定管理者事業支出	46.0 %	R2年度指定管理者損益	1,830,678 円	評価
利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料 / 利用者数	1,001.4 円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし	3

行革効果	[指定管理による行革効果]			[行革効果額] △ 967,028 円			評価
	[行革効果額の積算根拠]						
		R2	R1	比較			
	直営支出額	12,542,972	12,542,972	0			
市支出額	13,510,000	13,467,000	43,000				
効果額	△ 967,028	△ 924,028	△ 43,000				

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用許可 ・施設及び設備の維持管理 ・利用料金の決定・徴収・減免 ・利用者の安全確保 ・その他管理運営に必要な業務 	○		3
自主事業	<ul style="list-style-type: none"> ・売店、レストランの営業 ・星座の森感謝祭の開催 	△	星座の森感謝祭未実施 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からイベントを自粛したため。	

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価	
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	毎日実施しており、必要に応じて修繕を実施している。	○	3	
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	毎日実施しており、専門業者による定期的な保守点検を実施している。	○		
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	日常清掃は毎日実施しており、シーズン前後に特別清掃を実施している。	○		
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	省エネに努めていることを確認した。	○		
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	損害保険及び入場者施設賠償責任保険に加入していることを確認した。	○		
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	毎日実施している。	○		
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	減免対象者を明確にし、適切な執行をしている。	○	3	
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	各種団体へのセールス、広報、ホームページでのPR活動を実施している。	○		
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	適切な運営が行われている。	○		
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	内部研修等の実施により、適切に対応している。	○		
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	計画していた自主事業について一部実施を見送った。	△		新型コロナウイルス感染症の影響があったため。
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	月1回実施している。	○		
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報保護方針に基づき実施していることを確認した。	○	3	
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法定点検の実施を確認した。	○		
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	夜間警備を委託し実施していることを確認した。	○		
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡、対応体制の確保が適切に取られていることを確認した。	○		
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	非常時連絡網と対応マニュアル等により体制を整えていることを確認した。	○		
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	総合訓練、避難訓練の実施を確認した。	○		

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	評価 3
		調査内容	・利用者の情報 ・満足度	
	調査結果	・市内の利用者のほか、沿岸や県外からの利用客も多い。		
	要望・苦情等	良好とする評価 ・コテージの設備が良かった。 ・整備が行き届いており、清潔な環境だった。 ・景観が良かった。 ・スタッフの対応が良かった。 ・フリーサイトに車の乗り入れができて良い。		
		苦情・改善要望等	・冬季も営業してほしい。 ・入浴設備を充実してほしい。 ・トイレにウォシュレットを付けてほしい。	

6 総合評価

評価区分	評価	総合評価
1 施設の利用状況	3	<h1>3</h1>
2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
2 経費等の状況 (行革効果)	3	
3 事業の実施状況	3	
4 業務の実施状況	3	
①施設の維持管理	3	
②サービスの向上	3	
③危機管理対策	3	
5 利用者評価	3	
評価理由	経費節減に努めながら、施設や周辺環境が良好に保たれ、積極的なセールスにより利用者は年々増加傾向にある。また、県外からのリピーターが増えており、星座の森を拠点に市内観光施設に回遊するなど、奥州市の観光客増加に寄与している。 オープンから26年が経過し施設の老朽化が著しく、修繕費や備品購入費について今後増加していくことが考えられる。 利用客からの評価は概ね良好であり、施設利用の満足度は高い。	

7 改善事項等

	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
取り組み・改善案等 (施設所管課)	利用者が増加しており、改修未実施のコテージ4棟の外壁修繕、外トイレ洋式化が急務である。	予算が確保できず実施できなかったが、起債を活用し、令和3年度に実施予定。	利用者のニーズに応じた施設設備、修繕を計画的に行う。

令和2年度指定管理者評価調書

施設所管課	商工観光部商業観光課	評価者職氏名	課長 佐々木 紳了	評価日	令和3年6月30日
-------	------------	--------	-----------	-----	-----------

施設名称	奥州市越路スキー場	施設所在地	江刺地域
指定管理者名	江刺開発振興株式会社	公募・非公募の別	非公募
指定期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日（1年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	冬季スポーツの普及振興を図り、市民の心身の健全な発達に寄与する。	指定管理料の有無	有
		指定管理料の区分	指定管理料+利用料金
施設概要	ロッジ1棟、ペアリフト1基（距離800m）、簡易リフト4基（総距離858m）、駐車場（800台収容）、ナイター照明（20基）		

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	R2利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	奥州市越路スキー場利用者数		13,929	13,364	2,764	5,945	
							3
	(計)	13,929	13,364	2,764	5,945	215.1	
[利用者の増減理由] 令和元年12月4日にペアリフトが故障したことにより、2年度もアンバーリフトのみの営業となったものの、十分な積雪量だったため営業日数が増え、利用者増につながった。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位:円)	R2年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R2年度決算額		市直営決算(H17年度)			
収入	指定管理料	15,900,000		15,900,000	歳入	使用料		使用料		
	利用料金	1,931,600		1,931,600		賃貸料		賃貸料		
	自主事業		207,000	207,000		その他		その他		
	雑収入			0						
	計	17,831,600	207,000	18,038,600		計(A)	0	計(A)	0	
	支出	人件費	9,670,402		9,670,402	歳出 ※経常的	指定管理料	15,900,000	人件費	
		需用費	2,387,983		2,387,983		委託料		委託料	10,360,000
		役務費	224,911		224,911		需用費		需用費	
		委託料	1,169,212		1,169,212		その他		その他	
		使用料・賃借料	986,700		986,700	計(B)	15,900,000	計(B)	10,360,000	
租税公課		1,291,509		1,291,509	支出(B-A)	15,900,000	支出(B-A)	10,360,000		
その他諸費		393,367	65,024	458,391	歳出 ※臨時的	維持修繕費	814,968	維持修繕費	14,406,386	
計		16,124,084	65,024	16,189,108		備品購入費		備品購入費	1,329,405	
損益	1,707,516	141,976	1,849,492	使用料及び賃借料	1,035,058	計(C)	1,850,026	計(C)	15,735,791	
				計(C)	1,850,026	計(C)	15,735,791			
				支出(B+C-A)	17,750,026	支出(B+C-A)	26,095,791			

職員配置	常勤職員	4人	市の正職員	人
	非常勤職員	19人	市の臨時・非常勤職員	人

利用料金実績 (単位:円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額	
	2,091,600	160,000	1,931,600	

指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出	60.0%	R2年度指定管理者損益	1,849,492円	評価
利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数	2,674.5円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし	3

行革効果	[指定管理による行革効果]			[行革効果額] △ 5,540,000円			評価
	ペアリフト故障のためアンバーリフトのみでの営業となったが、十分な積雪量に恵まれたことと指定管理者の営業努力により黒字となった。自主事業のスノーモービルによる搬送やスキー場感謝祭の実施により、利用客の増加につながった。			[行革効果額の積算根拠]			
		R2	R1	比較			3
	直営支出額	10,360,000	10,360,000		0		
市支出額	15,900,000	15,900,000		0			
効果額	△ 5,540,000	△ 5,540,000		0			

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> 施設の一般利用者への提供 施設等の維持管理 機械設備等の維持管理 施設利用料の決定・徴収・減免 その他管理運営に必要な業務 	○		3
自主事業	<ul style="list-style-type: none"> 売店の営業 スキー場感謝祭の開催（1月） 「雪マジ119」への加盟 スノーモービル搬送 ファミリーゲレンデのソリ遊び場としての開放 	○		

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	毎日実施しており、必要に応じて修繕を実施している。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	毎日実施しており、専門業者による定期的な保守点検を実施している。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	日常清掃は毎日実施しており、シーズン前後に特別清掃を実施している。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	省エネに努めていることを確認した。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	損害保険及び入場者施設賠償責任保険に加入していることを確認した。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	毎日実施している。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	減免対象を明確にし、適切に執行している。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	各団体へのセールス、広報、HPでの効果的な広告宣伝を実施している。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	適切な運営が行われている。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	内部研修等の実施により、適切に対応している。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	越路スキー場感謝祭の開催やスノーモービル搬送など、積極的な接客に努めている。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	毎日実施している。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報保護方針に基づき実施していることを確認した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法定点検の実施を確認した。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	適切に実施していることを確認した。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡、対応体制の確保が適切に取られていることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	非常時連絡網と対応マニュアル等により体制を整えていることを確認した。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	総合訓練、避難訓練の実施を確認した。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	評価 3
		調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の満足度 ・意見、要望 	
	調査結果	<ul style="list-style-type: none"> ・子供連れでも安心して利用できる（ファミリー向け） 		
	要望・苦情等	良好とする評価 <ul style="list-style-type: none"> ・沿岸から利用しやすい立地 ・子どもと安心して遊べる ・スノーモービルでの搬送が良かった 		
		苦情・改善要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアリフトを直してほしい。 	

6 総合評価

	評価区分	評価	総合評価
総合評価	1 施設の利用状況	3	3
	2 経費等の状況 （指定管理者損益等）	3	
	2 経費等の状況 （行革効果）	3	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	3	
評価理由	積極的なPR活動、日常的な施設点検、ゲレンデ整備を行い、事故発生防止に努めているほか、経費削減に努力している。ペアリフト故障により令和元年度からはアンパーリフトのみの営業であったが、自主事業の拡充により利用客を確保している。市民はもとより、沿岸からの利用客も多く、交流人口の増加に寄与しており、積雪が確保されれば利用者の増加を図ることが可能である。		

7 改善事項等

	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
取り組み・改善案等 （施設所管課）	ペアリフトの故障などの影響で減少した利用者の増加に努める。	自主事業を拡充し、利用者の増加につながった。	効果的な広報宣伝と自主事業の実施により、ペアリフト故障等の影響で減少した利用者の増加に努める。

令和2年度指定管理者評価調書

施設所管課	商工観光部商業観光課	評価者職氏名	課長 佐々木 紳了	評価日	令和3年6月30日
-------	------------	--------	-----------	-----	-----------

施設名称	えさし藤原の郷関連施設 (①えさし藤原の郷、②江刺自然活用総合管理施設、③えさし観光交流館、④えさし郷土文化館)	施設所在地	江刺 地域
指定管理者名	江刺開発振興株式会社	公募・非公募の別	非公募
指定期間	平成31年4月1日～令和4年3月31日(3年間)	新規・継続の別	継続
施設設置目的	(藤)藤原文化及び平安建築の総合体験施設 (自)農畜産物、農村文化を活用した農村型リゾートの活性化、特産物のブランド化 (観)各種イベント等の実施支援、観光交流等を中心とした地域の活性化 (文)豊かな自然、歴史的な郷土文化等を活用し、都市住民等との交流を通じた地域の活性化	指定管理料の有無	有
施設概要	(藤)時代考証に基づく平安建築群約120棟、施設面積17ha (自)多目的ホール他RC一部3階建 建築面積2,977.81㎡ (観)軽量鉄骨造平屋建 建築面積499.99㎡ (文)農業紹介ホール、体験棟、奥の院ほか RC一部鉄骨造 建築面積2,495.08㎡	指定管理料の区分	指定管理料+利用料金

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	R2利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	えさし藤原の郷		85,949	90,062	106,419	55,252	
江刺自然活用総合管理施設		100,254	106,601	99,318	67,715	68.2	
えさし観光交流館		1,487	1,412	4,295	1,679	39.1	
えさし郷土文化館		21,289	19,542	19,133	10,506	54.9	
(計)		208,979	217,617	229,165	135,152	59.0	
[利用者の増減理由] 新型コロナウイルス感染症により前年度に対して、利用者が激減した。好調だったインバウンド入場者が皆無となったが、9月から11月はコース変更に伴う教育旅行の予約が急増し、12,204人の実績となり、前年度比353.8%となった。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位:円)	R2年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R2年度決算額		市直営決算(H17年度)			
収入	指定管理料	186,312,000		186,312,000	歳入	使用料		使用料	147,542,000	
	利用料金	23,277,925		23,277,925		賃貸料		賃貸料		
	自主事業		7,769,210	7,769,210		その他		その他		
	雑収入			0						
	計	209,589,925	7,769,210	217,359,135	計(A)	0	計(A)	147,542,000		
	支出	人件費	103,062,385	795,324	103,857,709	歳出 ※経常的	指定管理料	186,312,000	人件費	39,103,209
		需用費	29,652,992	1,498,926	31,151,918		委託料		委託料	253,498,448
		役務費	2,677,065		2,677,065		需用費		需用費	26,918,212
		委託料	31,001,617	59,975	31,061,592		その他		その他	
		使用料・賃借料	8,399,857	283,230	8,683,087	計(B)	186,312,000	計(B)	319,519,869	
租税公課		13,259,469		13,259,469	支出(B-A)	186,312,000	支出(B-A)	171,977,869		
その他諸費		15,474,153		15,474,153	歳出 ※臨時的	維持修繕費	428,241	維持修繕費	33,204,030	
計	203,527,538	2,637,455	206,164,993	備品購入費			備品購入費			
				工事請負費	10,081,500					
				計(C)	10,509,741	計(C)	33,204,030			
損益	6,062,387	5,131,755	11,194,142	支出(B+C-A)	196,821,741	支出(B+C-A)	205,181,899			

職員配置	常勤職員	17 人	市の正職員	人
	非常勤職員	11 人	市の臨時・非常勤職員	人

利用料金実績 (単位:円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額	R2年度指定管理者損益	11,194,142 円	評価
	26,106,650	2,828,725	23,277,925			

指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出	50.6 %	事業目的に適合しない支出等の有無	なし	3
-----------	--------------------	--------	------------------	----	---

行革効果	[指定管理による行革効果]			[行革効果額] △ 14,334,131 円			評価
	R1年度はホテル生育環境拡大工事、夜間照明設置工事、R2は入場門内公衆トイレ洋式化工事(繰越)、Wi-Fi環境整備工事を実施しているため、行革効果はマイナスになっているが、隣接する4施設を一体的に管理運営することにより、経費の削減と誘客が図られているほか、指定管理者の努力により近年入場者が回復傾向にある。※維持修繕費、工事請負費の支出を考慮して評価した。						
	[行革効果額の積算根拠]						
		R2	R1	比較			
直営支出額	171,977,869	171,977,869		0	3		
市支出額	186,312,000	183,612,000		2,700,000			
効果額	△ 14,334,131	△ 11,634,131		△ 2,700,000			

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	施設の利用許可、施設及び設備の維持管理、利用料金の決定・徴収・減免、利用者の安全確保、その他管理運営に必要な業務。(藤)鹿踊定期公演、えさしの語り部、平安まつり(春・夏・秋)	○		3
自主事業	(藤)平安の雅正式十二単・束帯等着付体験、ゆめひら号乗車体験、砂金採り体験、はまぐり絵付け体験、コスプレ撮影会 (白)地元特産品の販売及び食事提供 (文)職と工芸の体験プログラム、企画展、テーマ展、コーナー展、定期講座、特別講座、文化講座、特別催事等	○		

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	日常的に点検を行い、適切に管理している。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	日常的に点検を行い、適切に管理している。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	適切に実施している。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	光熱費の節減に努めている。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	加入している。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	適切に実施している。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適切に実施している。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	国内外エージェントへのセールス、学校等へのPRを積極的に行っている。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	トラブルも少なく適切に対応している。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	スキルアップ研修等を実施し、適切に対応している。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	夜間営業を定着させるなど事業計画に基づき積極的に事業を展開している。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	定期報告をしている。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報保護方針に基づき適切に管理している。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	年間計画により適切に実施している。	○	
	警備業務の実施(機械警備含む)	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	委託により適切に実施している。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	緊急時の連絡網を整備している。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	非常時連絡網、対応マニュアル等を整備している。	○	
	避難(救助)訓練の実施	避難訓練の実施	適切に実施している。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	3
		調査内容	(藤)・利用者の来園目的、満足度、意見・要望 ・イベント時のアンケートや接客の中での意見交換 (自)・利用者の満足度、意見・要望 (文)・来館目的 ・企画展、体験学習の要望 ・職員対応 ・感想	
	調査結果	(藤)・体験内容や園内環境に対して満足と感じているお客様が多い (自)・食事について高評価である (文)・毎月開催する講座の参加者が複数回来館することが多い。・11月3日の無料開放日を利用して毎年来館している。 ・地域に根差した信仰を知る展示をしている。		
	要望・苦情等	良好とする評価 (藤)日本で唯一再現した寝殿造を見ることができた。・紅葉ライトアップは感動した。京都にいたような感じ。・ホテル観賞会は毎年楽しみにしている。・季節の花が楽しめる。・ロケの雰囲気を見られてよかった。(自)・コロナ感染予防をされていて安心。・新メニューが増えてうれしい。・レディースランチ、メンズランチが好評。・従業員の対応がよかった。 (文)・学芸員に詳しい説明を受けることができた。・地域の貴重な資料を収集、管理しており安心できる。藤原の郷と合わせて見学することができ、歴史を五感で感じることができた。・イベントなどが開催されており、気軽に利用できた。		
	苦情・改善要望等	(藤)・修学旅行や遠足など大勢でお弁当を食べられる場所が欲しい。 (自)・時々食事の味にバラツキがある。 (文)・地域の歴史を子供でもわかりやすく紹介する企画展を希望。・施設内に空調がない場所があり過ごしにくい。		

6 総合評価

評価区分	評価	総合評価
1 施設の利用状況	3	<h1>3</h1>
2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
2 経費等の状況 (行革効果)	3	
3 事業の実施状況	3	
4 業務の実施状況	3	
①施設の維持管理	3	
②サービスの向上	3	
③危機管理対策	3	
5 利用者評価	3	
評価理由	市と連携した教育旅行、国内エージェンツ、台湾をはじめとする現地エージェンツに積極的にセールスを行い、前年度は7年ぶりに総入場者数が10万人を超え、インバウンドも過去最高の19,684人となったが、新型コロナウイルス感染症拡大により、4月23日から5月31日まで休業するなど前年度に比べて入場者数が大幅に減少したものの、県内在住者を対象にした「ささら旅」企画や、ライトアップと連動したレストハウスの夜間営業や仕出しの強化など積極的に営業を行った。9月から11月には小・中・高等学校の教育旅行が急増し、前年対比353.8%になるなど、苦しい中でも明るい兆しが見えるなど、これまでのエージェンツ訪問の効果が表れた結果であり評価できる。	

7 改善事項等

	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
取り組み・改善案等 (施設所管課)	好調なインバウンドのみならず、国内旅行者、市民入場者の増加を図る。	紅葉ライトアップ&プロジェクションマッピング、ホテル観賞会は市民のリピーターが多い他、レストランのレディース、メンズランチも好評で市民のリピーターが多い。	コロナ収束を見据えた施設の魅力アップ、誘客プロモーションを実施する。

令和2年度指定管理者評価調書

施設所管課	商工観光部商業観光課	評価者職氏名	課長 佐々木 紳了	評価日	令和3年6月30日
-------	------------	--------	-----------	-----	-----------

施設名称	温泉保養施設ひめかゆ（本館ほか8施設）	施設所在地	胆沢地域
指定管理者名	株式会社ひめかゆ	公募・非公募の別	非公募
指定期間	令和2年4月1日～令和3年3月28日（譲渡のため指定管理期間を変更）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	①市民の健康の維持増進及び観光の振興を図る。②ふれあい活動による活力と魅力あるまちづくりを推進する。③市民の憩いの場、コミュニケーションの醸成の場及び都市との交流の場を提供する。④農畜産物の消費拡大を図り、都市と農村の交流を推進する。⑤多様な森林資源の活用及び都市住民等との交流を図る。	指定管理料の有無	有
施設概要	温泉保養施設ひめかゆ本館、温泉保養施設ひめかゆほっと館、ゆうゆうプラザひめかゆ、農村ふれあいセンター、ひめかゆハーブの家、ひめかゆグルメハウス、交流促進センターやけいし館	指定管理料の区分	指定管理料＋利用料金

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	R2利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	ひめかゆ温泉		132,987	129,548	125,343	70,836	
やけいし館		17,924	17,419	17,119	9,437	55.1	
ひめかゆハーブの家		1,528	885	847	388	45.8	
(計)		152,439	147,852	143,309	80,661	56.3	
[利用者の増減理由] 前年対比約44%の減ではあるが、新型コロナウイルス感染症の影響によるものと考えられる。 ※令和2年度の利用人数は3月28日までの実績を計上。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	R2年度指定管理者収支				市の収支				
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R2年度決算額		市直営決算(H17年度)		
収入	指定管理料	18,635,561		18,635,561	使用料	0	使用料	1,937,500	
	宴会・食堂売上	30,300,116		30,300,116	賃貸料	0	賃貸料	0	
	入浴売上	34,142,881		34,142,881	その他	0	その他	0	
	宿泊・休憩売上	67,897,189		67,897,189					
	売店・自販売上	13,402,911		13,402,911					
	売上値引戻り高	16,583		16,583					
	計	164,395,241	0	164,395,241	計(A)	0	計(A)	1,937,500	
	支出	労務費	102,288,570		102,288,570	指定管理料	18,635,561	人件費	36,682,200
		経費	39,452,158		39,452,158	委託料	0	委託料	6,345,521
		一般管理費	37,059,062		37,059,062	需用費	13,244,000	需用費	0
		材料費	31,327,487		31,327,487	その他		その他	341,070
					0	計(B)	31,879,561	計(B)	43,368,791
					0	支出(B-A)	31,879,561	支出(B-A)	41,431,291
計		210,127,277	0	210,127,277	維持修繕費	42,573,300	維持修繕費	367,500	
			0	備品購入費	4,895,000	備品購入費	68,953		
			0	計(C)	47,468,300	計(C)	436,453		
損益	△ 45,732,036	0	△ 45,732,036	支出(B+C-A)	79,347,861	支出(B+C-A)	41,867,744		
職員配置	常勤職員		22 人	市の正職員		0 人			
	非常勤職員		25 人	市の臨時・非常勤職員		0 人			
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額			0			

指定管理者 人件費率	人件費(賃金等) /指定管理者事業支出	48.7 %	R2年度 指定管理者損益	△ 45,732,036 円	評価	
利用者一人 当たりの 指定管理料	指定管理料 /利用者数	231.0 円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし	3	
行革効果	[指定管理による行革効果]	[行革効果額] 9,551,730 円			評価	
	指定管理者制度の導入により指定管理制度導入以前より大幅に予算が削減されている。しかし、施設の老朽化による修繕費が増加している。	[行革効果額の積算根拠]				
			R2	R1		比較
		直営支出額	41,431,291	41,431,291		0
	市支出額	31,879,561	18,627,000	13,252,561		
	効果額	9,551,730	22,804,291	△ 13,252,561		

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	日帰り、宿泊利用者の受入とイベント開催、施設利用者への農畜産物の提供と企画立案、バンガロー利用者の受入、公園の除草等環境整備、その他温泉保養施設の管理運営業務	○		3
自主事業	温泉保養施設に付帯する関連施設の管理運営	○		

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	経年劣化による老朽化が目立つ。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	職員、専門業者による保守点検が行われている。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	職員、専門業者により実施されている。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	省エネに努めていることを確認した。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	施設利用者賠償責任への加入を確認した。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	適正に植栽管理されていることを確認した。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適切に執行されていることを確認した。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	チラシ等を利用して集客の宣伝に努めていることを確認した。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	接客等の研修指導により、好感をもたれる窓口対応に努めていることを確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	事例の共有化により迅速な対応を行っていることを確認した。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	季節の料理や宿泊プランを企画した。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	毎月定期的に報告を受けている。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報の適切な管理、及び情報漏洩防止の指導を行っていることを確認した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法定点検の実施を確認した。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	報告書により実施を確認した。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡、対応が適切に行われていることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	非常時連絡網、災害時の対応を確認した。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	報告書により実施を確認した。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	3
		調査内容	1 宿泊利用客にアンケート実施 2 食堂利用客にアンケート実施	
		調査結果	1 宿泊利用客にアンケートは、月平均10人程度記入してもらっている。 2 食堂利用客にアンケートは、月に1～2人程度記入してもらっている。	
	要望・苦情等	良好とする評価	食事、従業員の接客、温泉の質	
		苦情・改善要望等	客室の寝具類、虫の発生、食事の量	

6 総合評価

評価区分	評価	総合評価
1 施設の利用状況	3	3
2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
2 経費等の状況 (行革効果)	3	
3 事業の実施状況	3	
4 業務の実施状況	3	
①施設の維持管理	3	
②サービスの向上	3	
③危機管理対策	3	
5 利用者評価	3	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理事業について、事業計画に基づき適切に実施され、接客研修等によりサービス内容の向上に積極的に取り組むなど、今後の取組にも期待が持てる。 施設の老朽化により、修繕費が増加している。 	

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	胆沢ダム周辺の自然環境を生かした体験メニューと組み合わせた宿泊プランの構築。	星空観察会などとセットにした宿泊プランの構築を行った。	㈱ひめかゆへ施設を譲渡した為、特記事項なし。

令和2年度指定管理者評価調書

施設所管課	商工観光部商業観光課	評価者職氏名	課長 佐々木 紳了	評価日	令和3年6月30日
-------	------------	--------	-----------	-----	-----------

施設名称	前沢温泉保養交流館	施設所在地	前沢 地域
指定管理者名	丸協建設株式会社	公募・非公募の別	公募
指定期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日(1年間)	新規・継続の別	新規
施設設置目的	市民の健康の維持増進及び観光の振興を図る。	指定管理料の有無	有
		指定管理料の区分	指定管理料+利用料金
施設概要	保養所(男女浴室、小部屋、中広間、大広間)、機械室、自家水機械室、第2ボイラー室		

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	R2利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	前沢温泉保養交流館		102,824	103,593	103,467	89,807	
							3
	(計)	102,824	103,593	103,467	89,807	86.8	
〔利用者の増減理由〕							
新型コロナウイルス感染症の感染拡大による緊急事態宣言の発出で市の指示により休館期間を設定したり、外出自粛の影響により利用者減が顕著であった。							

2 経費等の状況

	R2年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R2年度決算額		市直営決算(R元年度)			
事業収支 (単位:円)	収入	指定管理料	15,435,250		15,435,250	歳入	使用料		使用料	50,241,815
		利用料金	38,744,235		38,744,235		賃貸料		賃貸料	
		自主事業	0		0		その他		その他	38,980,551
		雑収入	30,949,632		30,949,632					
		計	85,129,117	0	85,129,117		計(A)	0	計(A)	89,222,366
	支出	人件費	42,512,931		42,512,931	歳出 ※経常的	指定管理料	15,435,250	人件費	43,254,413
		需用費	47,869,723		47,869,723		委託料		委託料	4,974,968
		役務費	3,879,168		3,879,168		需用費	396,000	需用費	52,632,465
		委託料	3,326,799		3,326,799		その他	99,498	その他	6,833,092
		使用料・賃借料	2,608,818		2,608,818		計(B)	15,930,748	計(B)	107,694,938
租税公課		202,090		202,090	支出(B-A)		15,930,748	支出(B-A)	18,472,572	
	その他諸費	3,086,889		3,086,889	歳出 ※臨時的	維持修繕費	5,945,979	維持修繕費	4,290,000	
				備品購入費			備品購入費			
				手数料			手数料			
	計	103,486,418	0	103,486,418	計(C)	5,945,979	計(C)	4,290,000		
	損益	△ 18,357,301	0	△ 18,357,301	支出(B+C-A)	21,876,727	支出(B+C-A)	22,762,572		
職員配置	常勤職員		2	人	市の正職員		2	人		
	非常勤職員		19	人	市の臨時・非常勤職員		22	人		
利用料金実績 (単位:円)	利用料金算定額			実収入額						
	38,862,435	118,200		38,744,235						
指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出		41.1	%	R2年度指定管理者損益	△ 18,357,301		円	評価	
利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数		171.9	円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし			3	
行革効果	〔指定管理による行革効果〕			〔行革効果額〕			2,541,824		円	評価
				〔行革効果額の積算根拠〕						
				R2	R1	比較				
	指定管理初年度であったが、人件費・委託料・需用費など経費の削減が図られたが、新型コロナウイルス感染症の影響で利用料金の大幅な減が損益に大きく影響している。			直営支出額	18,472,572	18,472,572	0			
				市支出額	15,930,748	18,472,572	△ 2,541,824			
			効果額	2,541,824	0	2,541,824				

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> ・来館者への対応 ・施設の利用受付及び許可業務 ・利用料金徴収業務 ・利用者へのサポート等 ・緊急時対応 ・施設の維持管理業務 	○		3
自主事業				

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	日常的に点検を行い、適切に管理している。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	日常的に点検を行い、適切に管理している。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	適切に実施している。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	光熱水費、燃料費の節減に努めている。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	加入している。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	適切に実施している。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適切に実施している。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	適切に実施している。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	適切に実施している。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	適切に実施している。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	独自に利用料金の値下げやバスでの送迎など工夫して実施している。	○	
施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	毎月の業務報告書で報告を行っている。	○		
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	適切に管理している。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	年間計画により適切に実施している。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	適切に実施している。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	緊急時の連絡網を整備している。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	災害時におけるマニュアルを整備している。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	年1回実施している。	○	

5 利用者評価

利用者評価	実施の有無	有	評価
	利用者アンケート	調査内容	
	調査結果	<ul style="list-style-type: none"> ・サウナから出たところの長いすがいい ・食堂のイス席が好評 ・サウナのTVがうるさい ・タオル代は昔は入館料に入っていたのに 	
要望・苦情等	良好とする評価	・食堂のメニューが増えた	
	苦情・改善要望等	・料理の味が変わった	

6 総合評価

	評価区分	評価	総合評価
総合評価	1 施設の利用状況	3	3
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
	2 経費等の状況 (行革効果)	4	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	3	
評価理由	<p>令和2年度から新たに指定管理者制度に移行して初年度であったが、新型コロナウイルス感染症の影響も受けながらも、指定管理者による経営努力で利用状況は健闘した。 利用料金については指定管理者の戦略で条例に規定した料金から割り引いて運営したことにより、コロナ禍にあっても一定の利用者を確保したものの、その影響は大きく、損益は大幅なマイナスとなってしまった。 設備の老朽化が目立つ中、適切に施設の管理を図っている。</p>		

7 改善事項等

	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
取り組み・改善案等 (施設所管課)	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者損益の改善 ・機械設備の老朽化が顕著であり、計画的な修繕、更新が必要

令和2年度指定管理者評価調書

施設所管課	商工観光部商業観光課	評価者職氏名	課長 佐々木 紳了	評価日	令和3年6月30日
-------	------------	--------	-----------	-----	-----------

施設名称	奥州湖交流館	施設所在地	胆沢地域
指定管理者名	一般社団法人いわて流域ネットワーク	公募・非公募の別	非公募
指定期間	平成31年4月1日～令和4年3月31日（3年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	胆沢扇状地の自然、歴史及び文化を知ることのできる場並びに市民等の体験活動及び交流の場を提供し、もって地域の活性化を図る。	指定管理料の有無	有
施設概要	奥州湖交流館（展示室、ホール、展示スペース、更衣室） ※旧胆沢ダム学習館、会議室	指定管理料の区分	指定管理料＋利用料金

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	R2利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	奥州湖交流館	6,227	6,790	5,039	5,333	105.8	
会議室	121	423	110	79	71.8		
(計)	6,348	7,213	5,149	5,412	105.1		
〔利用者の増減理由〕 施設の認知度が上がってきた事と、新型コロナウイルス感染症の影響から県外より県内での周遊が増えたことも来館者の増加につながったと考えられる。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	R2年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R2年度決算額		市直営決算(H17年度)			
収入	指定管理料	6,956,000	0	6,956,000	歳入	使用料		使用料		
	利用料金	0	0	0		賃貸料		賃貸料		
	自主事業	0	11,320	11,320		その他		その他		
	雑収入	0	0	0						
	計	6,956,000	11,320	6,967,320		計(A)	0	計(A)	0	
	支出	人件費	4,811,370	0	4,811,370	※経常的 歳出	指定管理料	6,956,000	人件費	
		需用費	961,410	0	961,410		委託料		委託料	
		役務費	165,418	0	165,418		需用費		需用費	
		委託料	1,096,946	0	1,096,946		その他		その他	
		使用料・賃借料	73,480	0	73,480		計(B)	6,956,000	計(B)	0
		租税公課	0	0	0	支出(B-A)	6,956,000	支出(B-A)	0	
		その他諸費	170,025	0	170,025	※臨時的 歳出	維持修繕費		維持修繕費	
							備品購入費		備品購入費	
計	7,278,649	0	7,278,649	計(C)	0		計(C)	0		
損益	△ 322,649	11,320	△ 311,329	支出(B+C-A)	6,956,000	支出(B+C-A)	0			
職員配置	常勤職員	1 人			市の正職員		0 人			
	非常勤職員	3 人			市の臨時・非常勤職員		0 人			
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額							
	10,800	10,800	0							

指定管理者人件費率	人件費(賃金等) / 指定管理者事業支出	66.1 %	R2年度指定管理者損益	△ 311,329 円	評価
利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料 / 利用者数	1,285.3 円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし	3

行革効果	〔指定管理による行革効果〕			〔行革効果額〕			△ 6,956,000 円	評価
				〔行革効果額の積算根拠〕				
				R2	R1	比較		
	平成27年4月1日から指定管理を導入し、同年4月11日に開館したため、市直営の実績がなく、比較することができない。（市直営とした場合、人件費の増額が予想される）			直営支出額	0	0	0	3
				市支出額	6,956,000	6,956,000	0	
			効果額	△ 6,956,000	△ 6,956,000	0		

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	胆沢ダム周辺の情報発信等に関する業務、施設及び設備の維持管理に関する業務、会議室の利用申請等に関する業務、その他管理運営に必要な業務	○		3
自主事業	自主事業計画書に基づき実施 水源地を活用した各種事業（カヌー体験会等）及びその実施支援のための事業（川の安全講習会等）	○		

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	的確に保守点検が行われ、維持管理されている。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	職員、専門業者による保守点検が行われていた。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	報告書により適切に行われていることを確認した。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	省エネに努めていることを確認した。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	施設利用者賠償責任への加入を確認した。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	報告書により適切に管理されていることを確認した。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適正に執行されていることを確認した。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	チラシやWEBを利用して集客の宣伝に努めていることを確認した。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	接客等の研修指導により、好感をもたれる窓口対応に努めていることを確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	事例の共有化により迅速な対応を行っていることを確認した。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	写真展やラフティングなどを行った。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	毎月の報告を確認した。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報の適切な管理、及び情報漏洩防止の指導を行っていることを確認した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法定点検の実施を確認した。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	報告書により実施を確認した。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡、対応が適切に行われていることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	対応マニュアルを確認した。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	報告書により実施を確認した。	○	

5 利用者評価

利用者評価		実施の有無	有	評価
	利用者アンケート	調査内容	入館利用者アンケート	
		調査結果	4月～11月まで実施	
	要望・苦情等	良好とする評価	<ul style="list-style-type: none"> ・よく管理されており、気持ち良かった。 ・思いがけず立ち寄り”水”の大切さと先人の歴史を知るととてもすばらしいと思った。 ・扇状地を立体的、歴史的に見られて興味深かった。 	
		苦情・改善要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・化石がどこで発見できるのか知りたい。 ・職員の説明があってもいいのではないか。 ・旧穴山堰等に関する資料（郷土誌）の販売があれば宜しいかと思えます。 	
			3	

6 総合評価

	評価区分	評価	総合評価
総合評価	1 施設の利用状況	3	<h1>3</h1>
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
	2 経費等の状況 (行革効果)	3	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	3	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度より新たに指定管理を導入し、市の施設として管理した実績がないため、行革効果については把握できない。 ・指定管理事業については、事業計画書に基づき適切に管理されている。 ・自主事業については、新型コロナウイルス感染症の影響で県内に絞っての集客であったが、多くの申込があった。 		

7 改善事項等

	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
取り組み・改善案等 (施設所管課)	情報発信に引き続き取組みつつ、リピーターの増加及び新規の利用者の増加につなげる。	指定管理者のHPによる情報発信を行った。また、県内での周遊が増えたことにより、認知につながったものと考え。	県外からの集客のために更なる情報発信及びリピーターの増加が必要だと考える。